



(例：ドローン講習の受講)等を幅広く支援(定額)する事業について、公募を1月16日まで実施中です。(今回の公募以降も、予算残があれば公募を行いますので、適宜ホームページをご確認ください。)

農業支援サービス事業の主体は、農業分野とは直接関係のない事業者(例：建設業者等。個人・法人も問いません。)も可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、この機会に、管内の事業者幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービス事業の推進にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

- ・農業支援サービス関係情報：

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

- ・事業の公募情報等：

[https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/251223\\_140-1.html](https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/251223_140-1.html)

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

(担当：サービスユニット) (03-6744-2107)

=====

◆スマート農業技術の導入や横展開を支援する事業が始まります！

～スマ転事業(スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業)のご案内～

=====

農林水産省では、令和7年度補正予算において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入とその効果を高める栽培体系への転換の取組や、当該取組の横展開のための展示ほ場の設置等を支援する、「スマ転事業(正式名称：スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業)」を措置しました。

ブロック別の事業説明会を以下の日程で開催しますので、積極的なご参加をお待ちしております。

会議リンクや説明資料については、地方農政局等を通じて送付する予定です。

◆ブロック別説明会

- 1月13日(火) 10時～11時30分：東北ブロック
- 1月13日(火) 13時30分～15時：九州、沖縄ブロック
- 1月14日(水) 10時～11時30分：北海道ブロック
- 1月14日(水) 13時30分～15時：東海ブロック
- 1月15日(木) 10時～11時30分：中国四国ブロック
- 1月15日(木) 13時30分～15時：関東ブロック
- 1月16日(金) 10時～11時30分：近畿ブロック
- 1月16日(金) 13時30分～15時：北陸ブロック

上記日程のご参加が難しい場合は、一般向け説明会へのご参加も可能です。お

申込み受付は、地方農政局等を通じてご連絡いたします。

◆一般向け説明会

1月21日（水）10時～11時30分

1月22日（木）13時30分～15時

1月23日（金）10時～11時30分

普及指導員の皆様におかれましては、スマート農業技術の導入に係る農業者へのサポートや、横展開に向けた展示ほ場の設置など、事業の推進にご協力いただきますようお願いいたします。

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：宮永、中村、鹿嶋）（03-6744-2107）

◆「令和7年度グリーンな栽培体系の取組報告会」を開催します！

「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する技術」を取り入れた、グリーンな栽培体系について学べる報告会を、令和8年1月29日（木）にオンラインで開催します。

本報告会では、農研機構及び農林水産省による「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた施策や取組に関する基調講演に加え、全国6地区の水稻、野菜、花き、果樹におけるグリーンな栽培体系の事例発表を行います。

普及指導員の皆様におかれましては、グリーンな栽培体系への転換を進める現場の実践例を一度に聞ける貴重な機会ですので、積極的なご参加をお待ちしております。

▼ イベントの詳細についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/events.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局技術普及課

（担当：藤路、鹿嶋）（03-6744-2107）

◆グリーンな栽培体系への転換に向けた産地の取組を支援します！（グリーンな生産体系加速化事業のうち「グリーンな栽培体系加速化事業」）

環境にやさしい栽培技術や気候変動適応技術とともに省力化に資する技術を取り入れたグリーンな栽培体系の検証や、検証に必要なスマート農業機械等の導入を支援します。

効果やコストが気になって導入をためらっている技術があれば、ぜひ本事業を活用ください。

事業の詳細、今後の要望調査等の情報については、以下 URL をご確認ください。

▼詳細はこちら：

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html#ankor-yosan>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局技術普及課

(担当：藤路、鹿嶋) (03-6744-2107)

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆令和7年度新技術農業機械化推進研修(精密農業・自動化コース2及び3)を開催します

【農林水産研修所 つくば館】

=====

この度、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術の現状と今後の普及のための課題等に対する理解を深めることをねらいとした研修を実施します。コース2はオンライン、コース3は実演を含む対面開催となります。

受講希望の方は、受講申請書に必要事項を記載の上、電子メール又は郵送により申し込みをお願いします。普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知をお願いします。

日時：

・精密農業・自動化コース2：1月30日(金) 9:35~15:20

・精密農業・自動化コース3：3月6日(金) 9:45~15:45 (会場は水戸は場)

申込期限：コース2は1月22日(木)、コース3は2月19日(木)

▼詳細はこちら

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/07\\_seimitu2.pdf](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/07_seimitu2.pdf)

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/07\\_seimitu3.pdf](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/07_seimitu3.pdf)

▼申し込み方法はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/app.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館(農業機械研修担当)

(029-839-9481)

=====

◆「地域計画」を今年もブラッシュアップしていきましょう

【経営局 農地政策課】

=====

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、地域農業の在り方や農地利用を明確化した「地域計画」の取組にご協力を頂き、ありがとうございました。

これからは計画の実現や、策定された計画のブラッシュアップに向けて話し合いを継続していくこととなります。

普及指導員の皆さまにおかれましては、協議の場に積極的に参加いただき、地域の合意形成に向けたコーディネート役や、地域の実情に応じた作物の導入の提案等により産地化に向けたサポートを行うことなど、市町村の取組を支援し、地域計画のブラッシュアップの推進について、引き続き、ご協力をお願いいたします。  
本年も何卒よろしくお願ひいたします。

▼詳細はこちら

[https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki\\_keikaku.html](https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki_keikaku.html)

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 農地政策課

(担当：地域計画G) (03-6744-2151)

=====

◆ (ご案内) スマート農業の技術開発・供給に係る研究予算について

【農林水産技術会議事務局 研究推進課】

=====

スマート農業技術開発・供給加速化対策の次の事業について、農研機構において公募を開始しました。(公募期限：2/13(金)正午まで)

- 1 重点課題対応型研究開発 (民間事業者対応型)
- 2 低コスト・小型化等現場ニーズ即応型開発
- 3 先行的研究開発支援
- 4 技術改良・新たな栽培方法の確立の促進
- 5 スマート生産方式 SOP 作成研究

なお、事業により、開発供給実施計画の認定を受けていること又は認定を受けることが確実な者であることを応募要件又は審査におけるポイント加算の対象としています。

認定を受けることが確実な者となるには、1/30 正午までに農林水産省研究推進課との間で、事前相談を開始していただく必要がありますのでご注意ください。(既に事前相談を進めている方も応募の際は、改めて 1/30 正午までにお知らせください。)

▼詳細はこちら

スマート農業技術開発・供給加速化対策：[index-5.pdf](#)

開発供給実施計画：<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/kaihatsu.html>

1～4 (外部リンク)：<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2025-2.html>

5 (外部リンク)：[https://www.naro.go.jp/project/research\\_activities/laboratory/naro/173322.html](https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/173322.html)

※お問い合わせ先

・1～4について (開発供給実施計画の認定手続は除く)

生研支援センター 事業推進部民間技術開発課：[brain-smartagriweb@](mailto:brain-smartagriweb@)

[ml.affrc.go.jp](http://ml.affrc.go.jp)

・5について（開発供給実施計画の認定手続は除く）

農研機構本部みどり戦略・スマート農業推進室スマート農業チーム [sh-sop-smartA@naro.go.jp](mailto:sh-sop-smartA@naro.go.jp)

・開発供給実施計画の認定手続について

農林水産省 農林水産技術会議事務局研究推進課：  
[smart\\_kaihatsu@maff.go.jp](mailto:smart_kaihatsu@maff.go.jp)

=====

◆「2025年農業技術10大ニュース」を選定しました！

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農林水産省は、毎年、民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人が公表した農林水産分野の研究成果のうち、新聞記事として取り上げられたものを対象に、内容の優秀さと社会的関心の高さを基準として、農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社加盟）の会員投票により、注目すべき10課題を「農業技術10大ニュース」として選定しています。

今般、2025年の1年間に公表された農林水産分野の研究成果を対象として、「2025年農業技術10大ニュース」を選定しました。

普及指導員の皆様におかれましては、水田のしぶとい雑草防除法から話題の新品種、先進的スマート技術まで、話題となった研究成果をぜひご覧ください！

▼詳細はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/251219.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（03-3502-7407）

=====

◆果樹の温暖化被害（着色不良・日焼け・晩霜害）を予測するシステムを開発

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

近年、果樹では着色不良、日焼け、晩霜害などの温暖化に起因する被害が増えています。そこで、気象データに加え、果樹の種類や発育状況を考慮することで、被害発生を高い精度で予測するシステムを新たに開発しました。このシステムにより、生産現場では被害発生前の対策の必要性を的確に判断できるため、利用者に適時の必要な対策実施を促すとともに、必要以上の対策の回避が可能になります。その結果、温暖化に伴う果樹生産の損害や対策コストの低減が期待できます。

普及指導員の皆様におかれましては、本システムの活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nifts/173098.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/173098.html)

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（03-3502-7407）

=====

◆「NARO 生育・収量予測ツール2 イチゴ」の対応品種を10品種に拡大で品種特性に応じた生産性向上を実現

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、イチゴの収量を品種ごとに予測するAPI「NARO 生育・収量予測ツール2 イチゴ」で利用できる品種を拡大し、種子繁殖型品種「よつぼし」、「ベリーポップ はるひ」、四季成り性品種「夏のしずく」、一季成り性品種「恋みのり」、「いばらキッス」、「越後姫」、「かおり野」、「紅ほっぺ」など10品種で利用できるようになりました。これにより、品種ごとの特性に応じた収量予測と栽培改善が実現できるようになりました。

普及指導員の皆様におかれましては、本ツールの活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nivfs/172753.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/172753.html)

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（03-3502-7407）

=====

◆農業経営計画策定支援システムの開発とスマート農業経営指標の公開

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

農研機構は、水田作におけるスマート農業導入効果を可視化するための「農業経営計画策定支援システム」を開発し、その一部を公開しました。

このシステムは、スマート農業実証プロジェクトで得られたデータをもとに構築した農業経営指標と、それを活用してシミュレーションを行う Web アプリで構成されています。スマート農業を導入した効果を簡易にシミュレーションすることができます。

普及指導員の皆様におかれましては、本システムの活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）



⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。